

令和2年度 新潟県の交通事故発生状況

「道路安全性検討委員会」事務局

目次

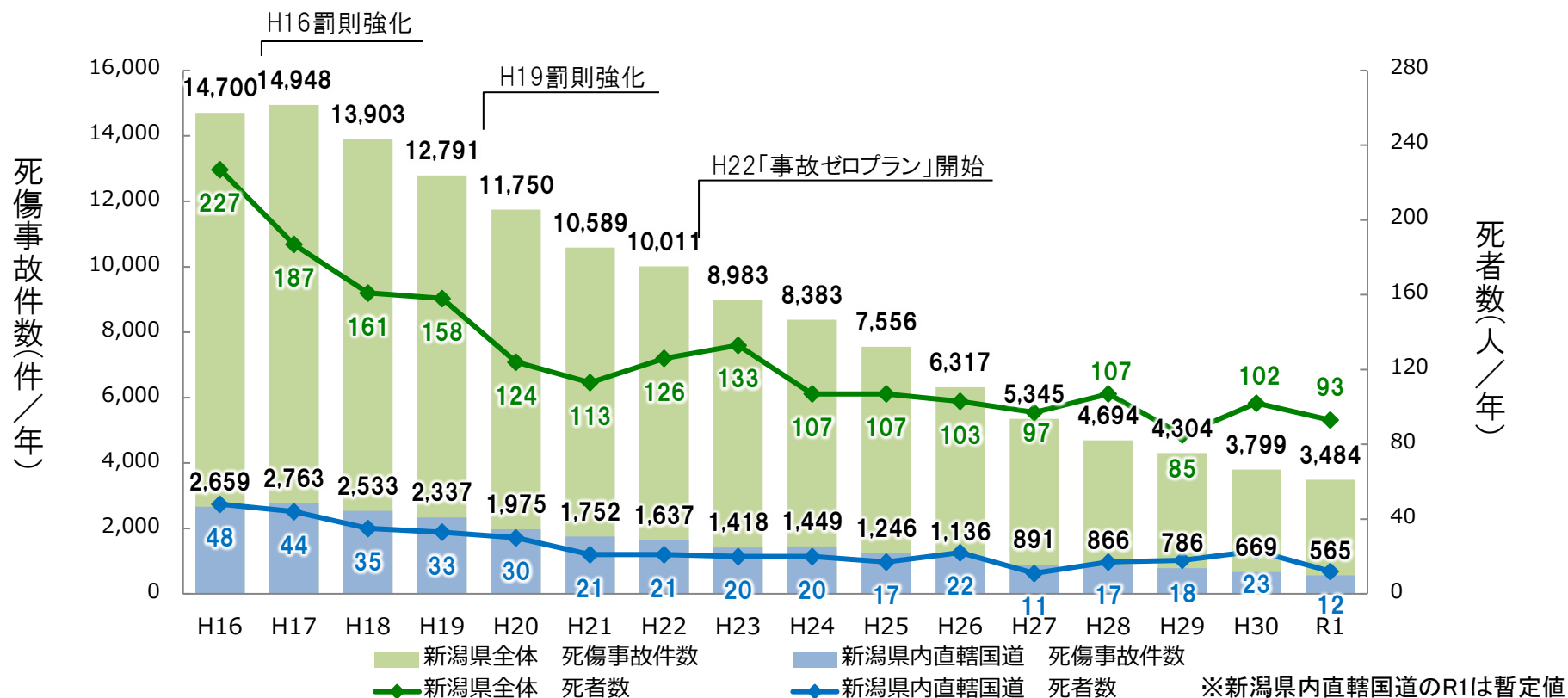
1. 新潟県内の事故発生状況	
(1) 死傷事故件数・死者数の推移 2
(2) 死亡事故件数の推移 3
(3) 死傷事故件数(指数)の全国との比較 4
(4) 死亡事故件数(指数)の全国との比較 5
(5) 重大事故件数(指数)の全国との比較 6
2. 新潟県内直轄国道の事故発生状況	
(1) 季節別、昼夜別 7
(2) 年齢別 8
(3) 当事者別 9
(4) 道路構造別、事故類型別 10
3. 新潟県内の自転車・歩行者事故発生状況	
(1) 自転車事故件数・死者数の推移 11
(2) 歩行者事故件数・死者数の推移 12
4. 新潟県内直轄国道の自転車・歩行者事故発生状況	
死亡・重傷事故、道路構造別、昼夜別、年齢別の発生傾向 13
5. 新潟県内直轄国道の項目別事故減少率 14
6. 新潟県内直轄国道の事故特性まとめ 15

1. 新潟県内の事故発生状況

(1) 死傷事故件数・死者数の推移

- 死傷事故件数は、新潟県全体・直轄国道ともに、事故対策や罰則強化、車両安全性能向上などにより減少傾向。
- 新潟県全体の死者数は、変動はあるものの概ね減少傾向。
- 直轄国道の死者数は、H21年まで減少傾向にあったものの、近年は横ばい。

新潟県内の全道路および直轄国道における死傷事故件数と死者数の推移



【H16罰則強化】走行中の携帯電話・酒気帯びの検査拒否による罰則の引き上げ等
 【H19罰則強化】飲酒運転による罰則の引き上げ等

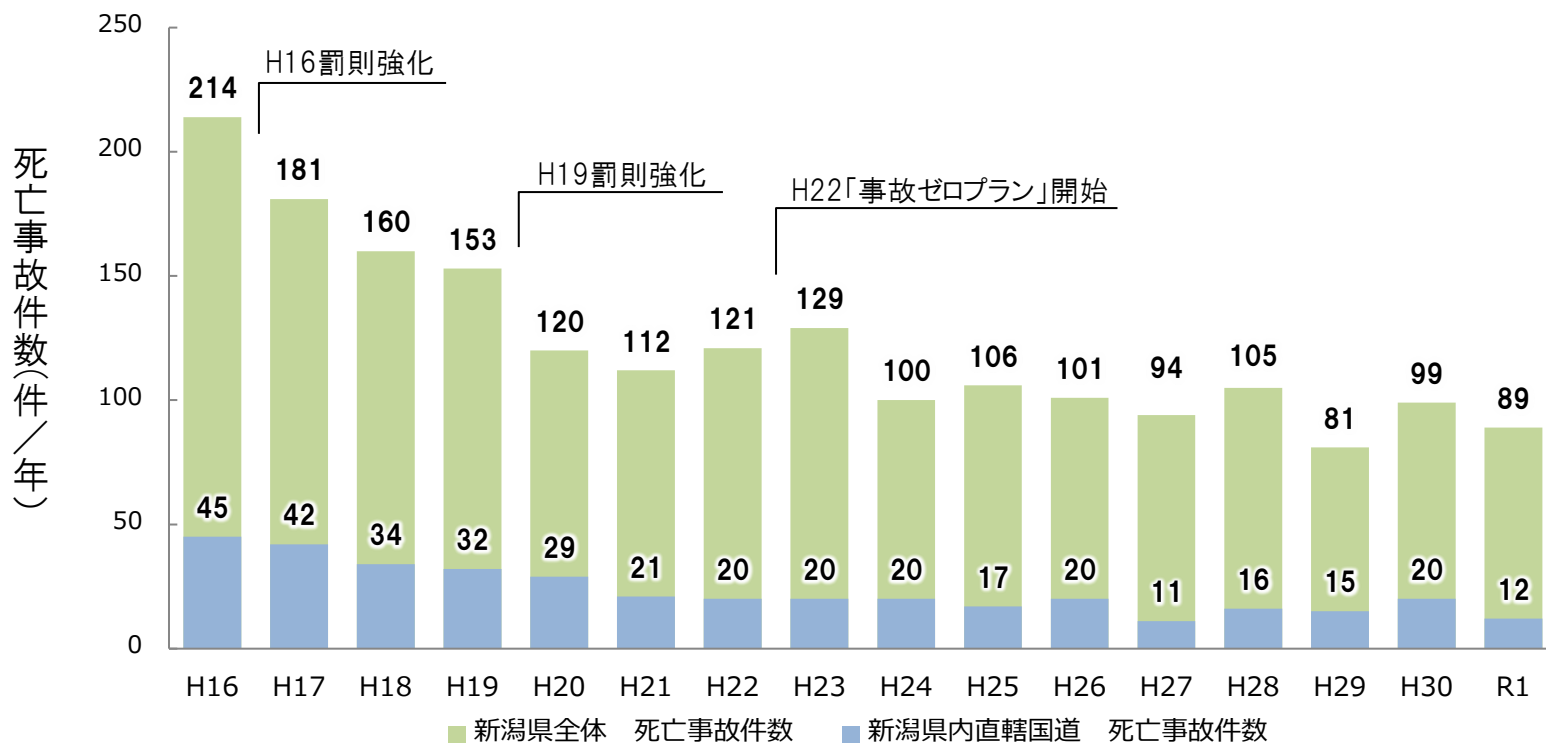
出典：(公財)交通事故総合分析センター「交通事故統計表データ」
 (公財)交通事故総合分析センター「ITARDA区間別データ」
 「R1県警事故データ」

1. 新潟県内の事故発生状況

(2) 死亡事故件数の推移

- 死亡事故件数は、新潟県全体・直轄国道ともに、事故対策や罰則強化、車両安全性能向上などにより減少傾向。
- 新潟県全体の死亡事故件数は、変動はあるものの概ね減少傾向。
- 直轄国道の死亡事故件数は、H21年まで減少傾向にあったものの、近年は横ばい。

新潟県内の全道路および直轄国道における死亡事故件数の推移



※新潟県内直轄国道のR1は暫定値

【H16罰則強化】走行中の携帯電話・酒気帯びの検査拒否による罰則の引き上げ等
【H19罰則強化】飲酒運転による罰則の引き上げ等

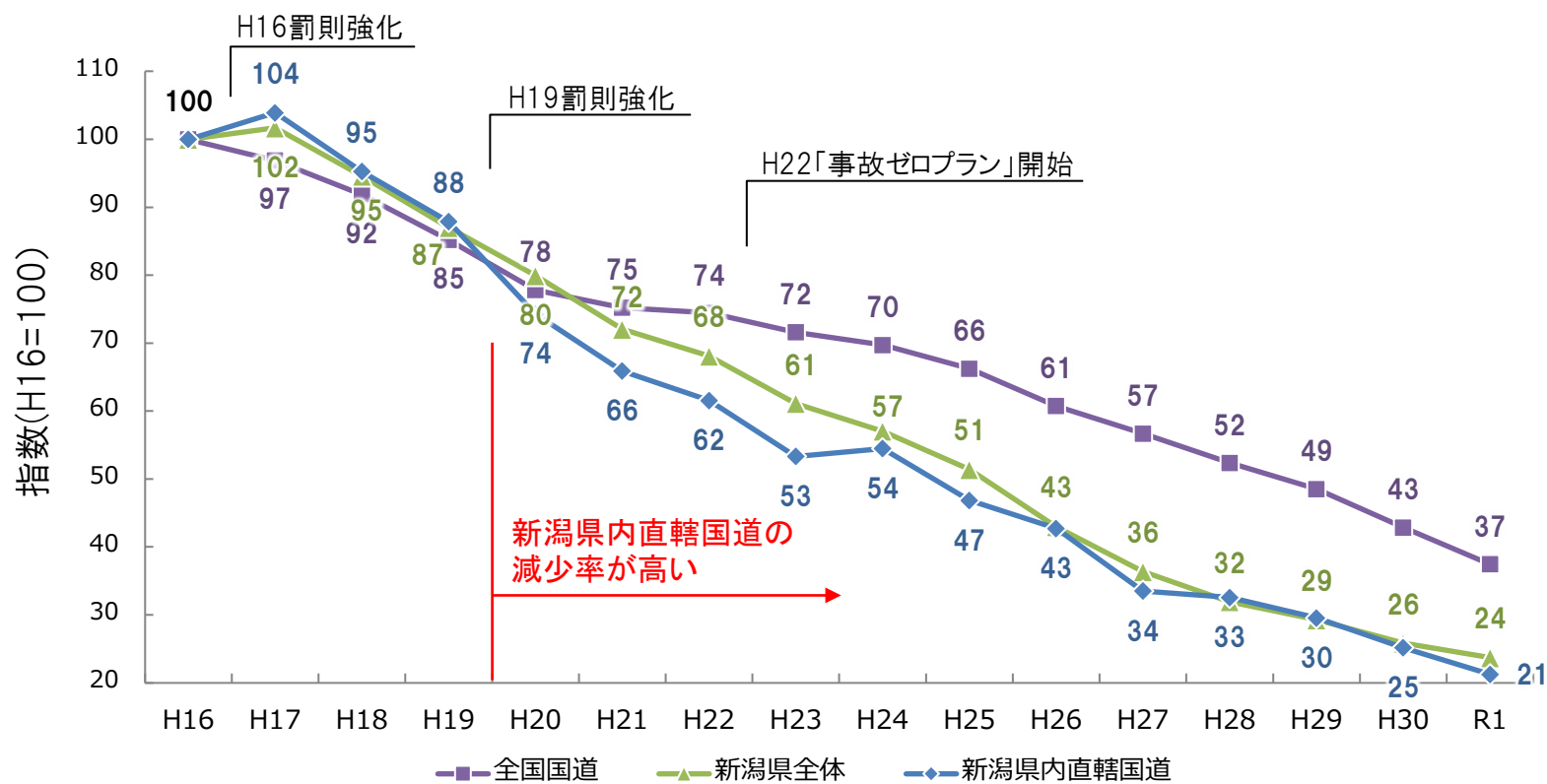
出典：(公財)交通事故総合分析センター「交通事故統計表データ」
(公財)交通事故総合分析センター「ITARDA区間別データ」
「R1県警事故データ」

1. 新潟県内の事故発生状況

(3) 死傷事故件数(指数)の全国との比較

- 県内直轄国道の死傷事故件数は、全国の国道と比較してH20年以降の減少率が高く、R1年にはH16年の約5分の1まで減少している。

H16を100とした場合の全国の国道、新潟県全体、新潟県内直轄国道の死傷事故件数(指数)の推移



※新潟県内直轄国道のR1は暫定値

【H16罰則強化】走行中の携帯電話・酒気帯びの検査拒否による罰則の引き上げ等
【H19罰則強化】飲酒運転による罰則の引き上げ等

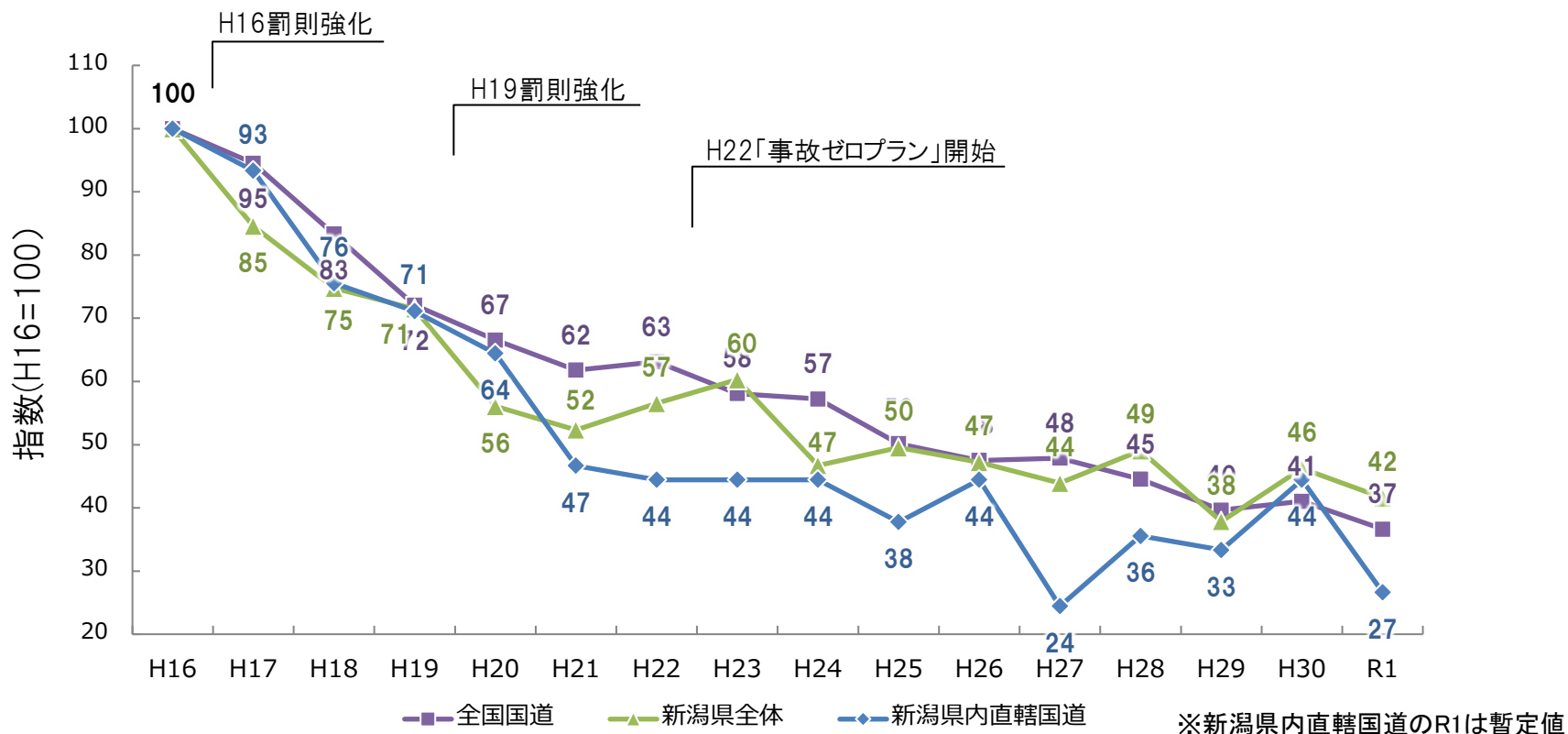
出典：(公財)交通事故総合分析センター「交通事故統計表データ」
(公財)交通事故総合分析センター「ITARDA区間別データ」
「R1県警事故データ」

1. 新潟県内の事故発生状況

(4) 死亡事故件数(指数)の全国との比較

- 県内直轄国道の死亡事故件数はH16年からH27年まで概ね減少傾向にあったものの、近年は横ばい。
- R1時点での減少率は、全国国道・新潟県とほぼ同じ。

H16を100とした場合の全国の国道、新潟県全体、新潟県内直轄国道の死亡事故件数(指数)の推移



【H16罰則強化】走行中の携帯電話・酒気帯びの検査拒否による罰則の引き上げ等
【H19罰則強化】飲酒運転による罰則の引き上げ等

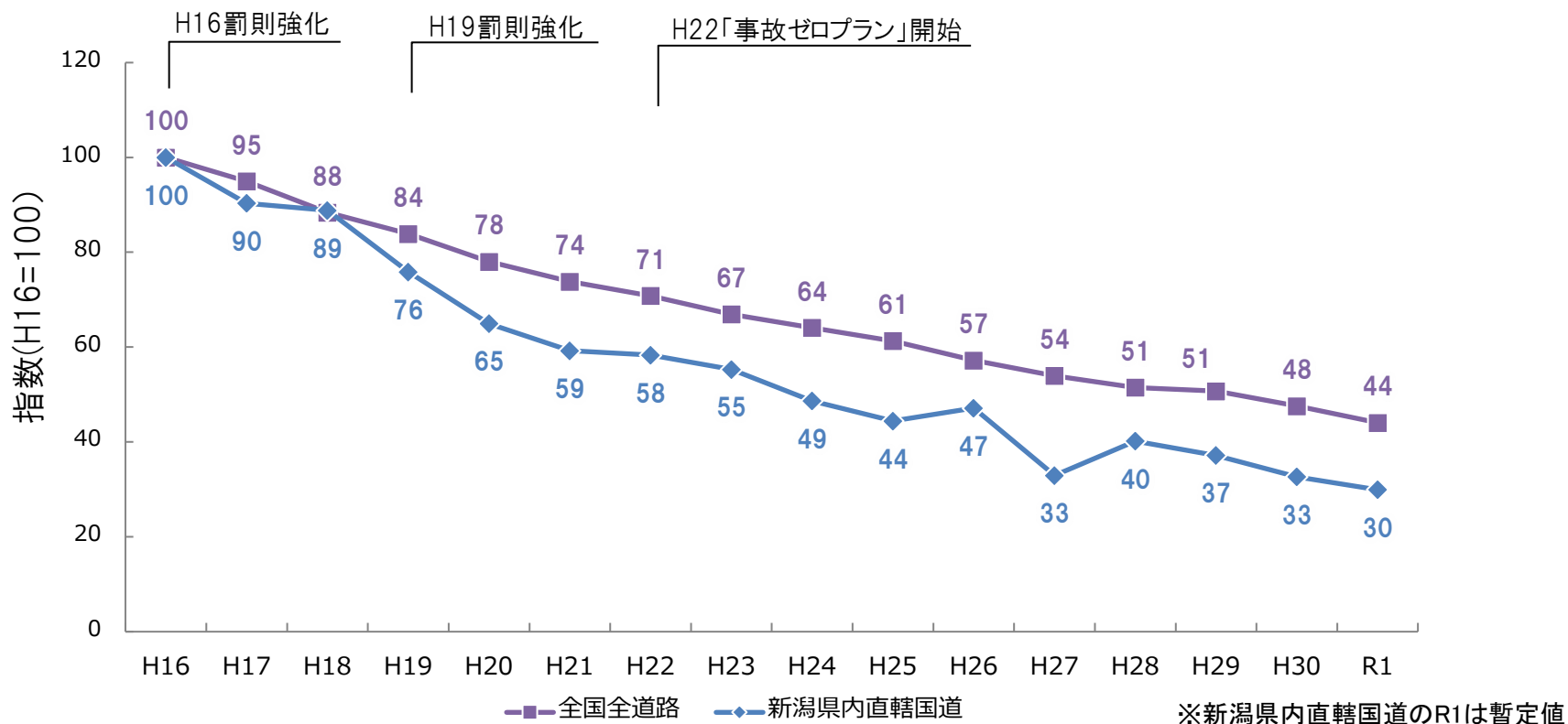
出典：(公財)交通事故総合分析センター「交通事故統計表データ」
(公財)交通事故総合分析センター「ITARDA区間別データ」
「R1県警事故データ」

1. 新潟県内の事故発生状況

(5) 重大事故件数(指数)の全国との比較

- 新潟県内直轄国道の重大事故件数は、全国全道路に比べ減少している。

H16を100とした場合の全国、新潟県内直轄国道の重大事故件数(指数)の推移



【H16罰則強化】走行中の携帯電話・酒気帯びの検査拒否による罰則の引き上げ等
【H19罰則強化】飲酒運転による罰則の引き上げ等

出典：(公財)交通事故総合分析センター「交通事故統計表データ」
(公財)交通事故総合分析センター「ITARDA区間別データ」
「R1県警事故データ」

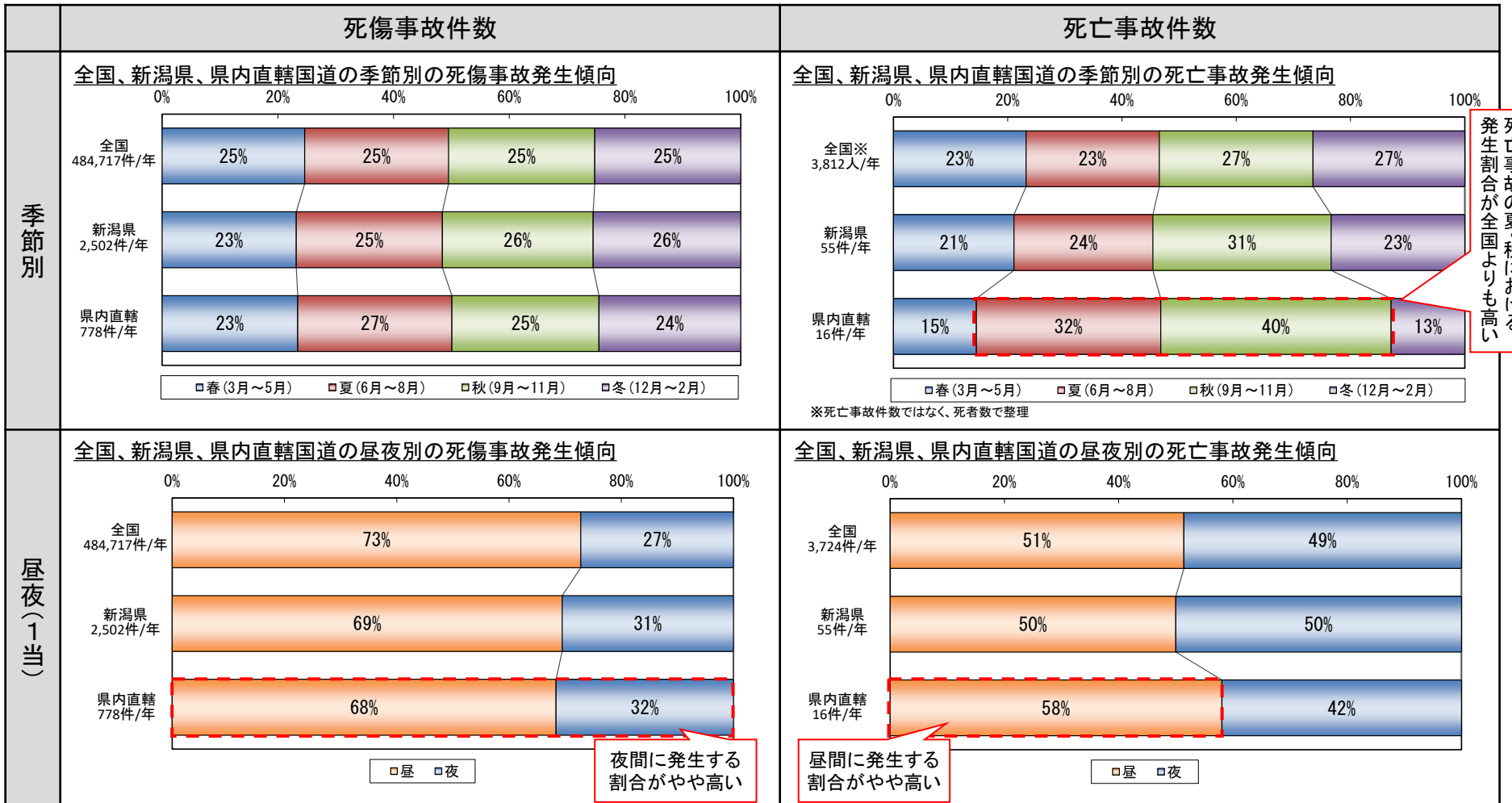
2. 新潟県内直轄国道の事故発生状況

(1) 季節別、昼夜別

注)ここでの「新潟県」は、
市道・高速道路は含まない

【H27～H30年の事故発生状況(死傷事故、死亡事故)について、「季節別」、「昼夜別」に全国、新潟県と比較】

- ・ 季節別の割合では、死傷事故は全国・新潟県と同様の傾向であるが、死亡事故は夏および秋の割合が高く冬の割合が低い。
- ・ 昼夜別では、死傷事故は夜間に発生する割合がやや高く、死亡事故は昼間に発生する割合がやや高い。



死亡事故の夏・秋における発生割合が全国よりも高い

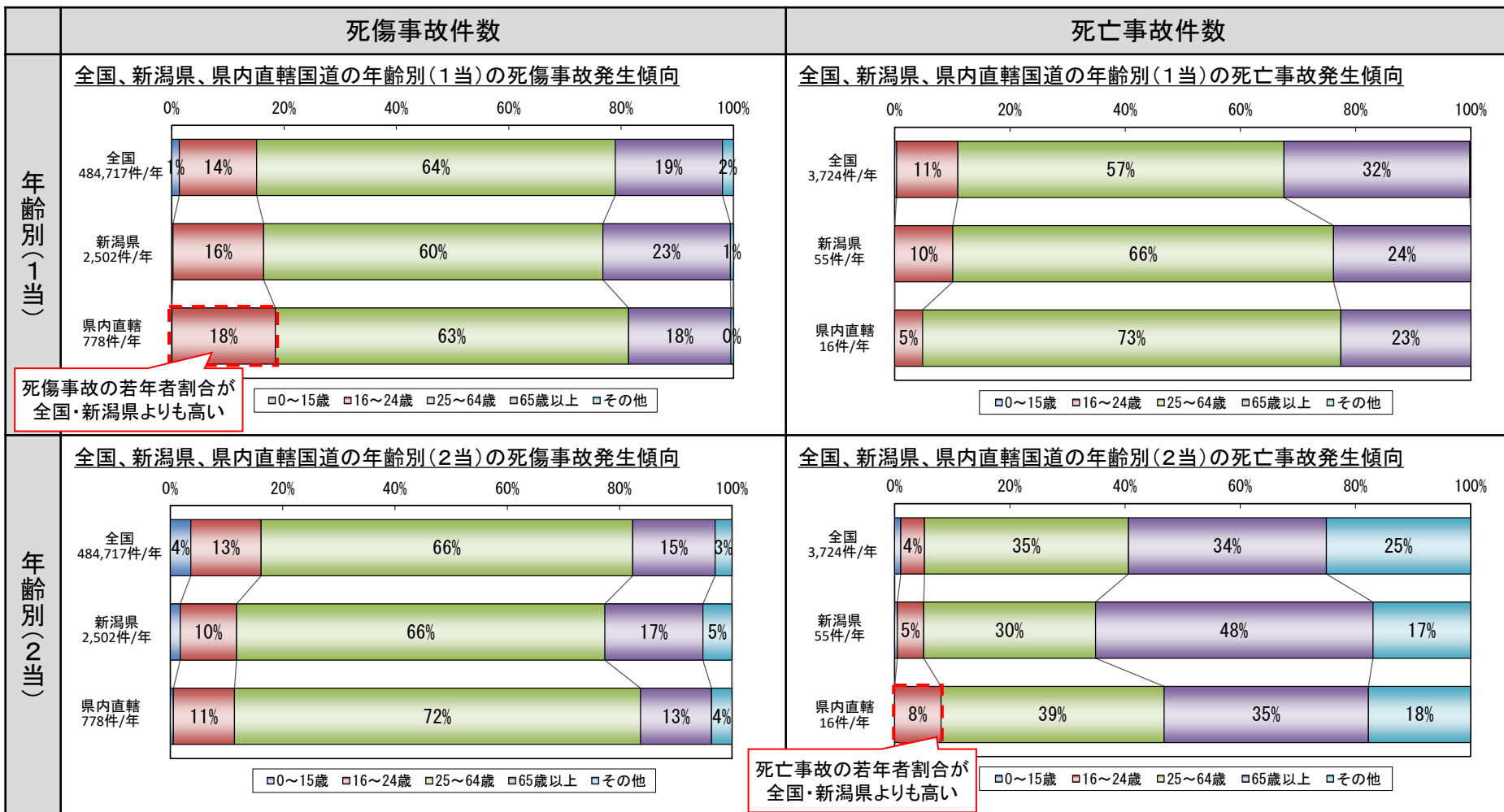
2. 新潟県内直轄国道の事故発生状況

(2) 年齢別

注)ここでの「新潟県」は、市道・高速道路は含まない

【H27～H30年の事故発生状況(死傷事故、死亡事故)について、「年齢別」に全国、新潟県と比較】

- ・ 第1当事者の年齢別では、死傷事故は全国・新潟県と比較して24歳以下の若年者の割合が高い。
- ・ 第2当事者の年齢別では、死亡事故は全国・新潟県と比較して24歳以下の若年者の割合が高い。



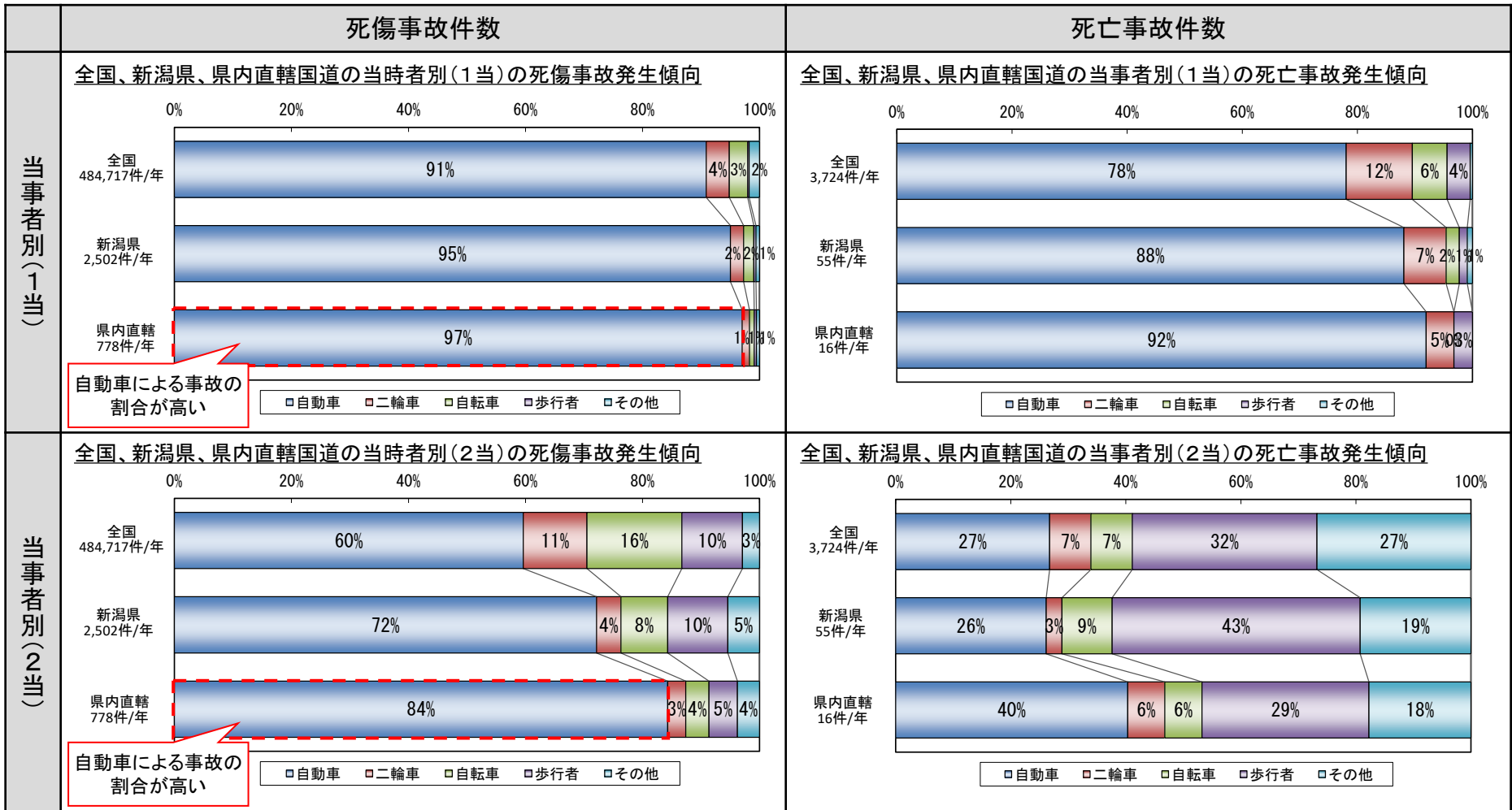
2. 新潟県内直轄国道の事故発生状況

(3) 当事者別

注)ここでの「新潟県」は、
市道・高速道路は含まない

【H27～H30年の事故発生状況(死傷事故、死亡事故)について、「当事者別」に全国、新潟県と比較】

- ・ 第1当事者別では、死傷事故、死亡事故ともに全国・新潟県と比較して自動車による事故の割合が高い。
- ・ 第2当事者別では、死傷事故、死亡事故ともに全国・新潟県と比較して自動車による事故の割合が高い。



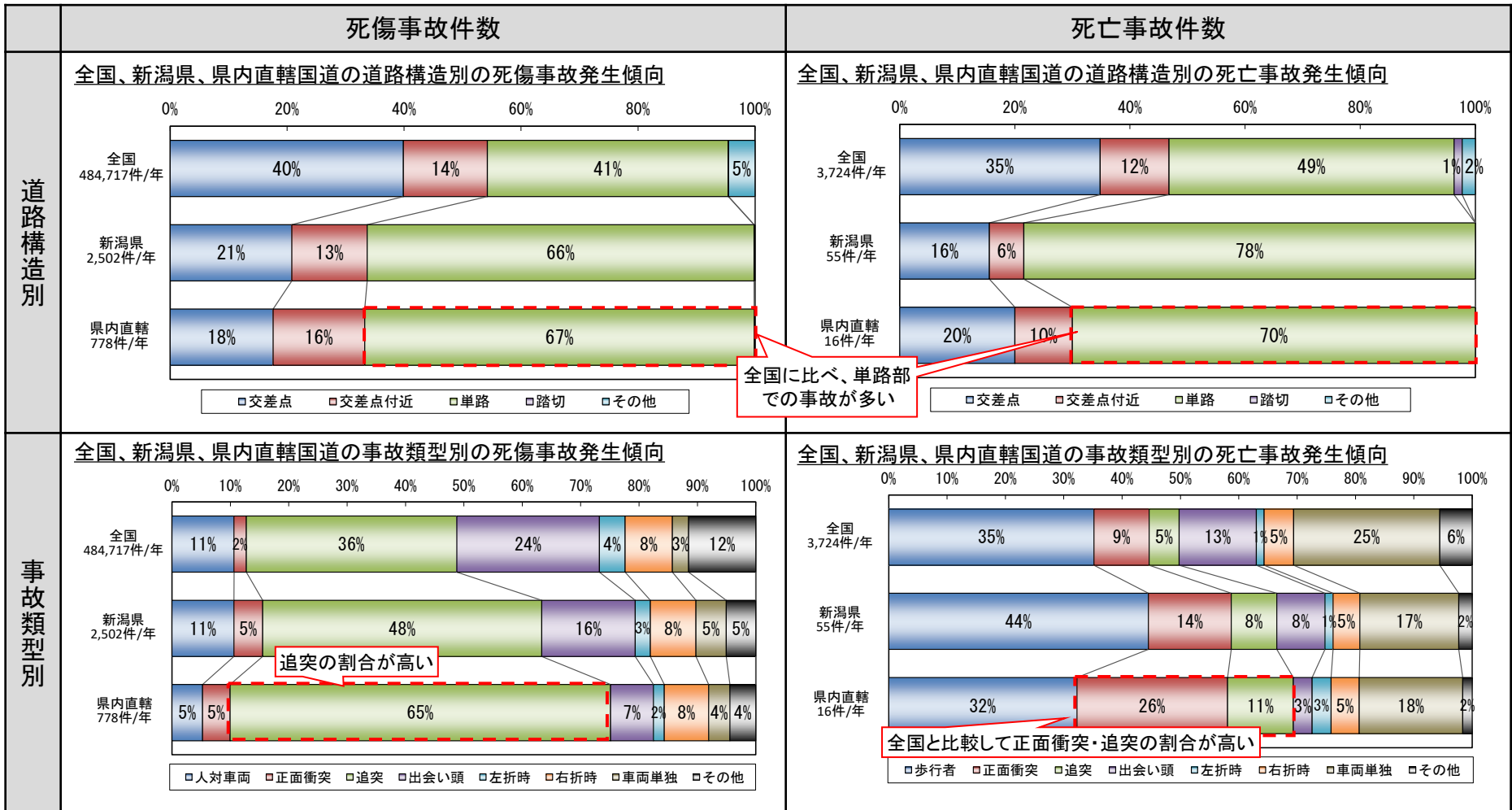
2. 新潟県内直轄国道の事故発生状況

(4) 道路構造別、事故類型別

注)ここでの「新潟県」は、
市道・高速道路は含まない

【H27～H30年の事故発生状況(死傷事故、死亡事故)について、「道路構造別」、「事故類型別」に全国、新潟県と比較】

- 道路構造別では、死傷事故・死亡事故ともに、全国と比較して単路部の割合が高い。
- 事故類型別では、県内直轄国道の死傷事故は追突事故が約7割を占める。
また、死亡事故は、正面衝突事故、追突事故の割合が高い。



全国に比べ、単路部
での事故が多い

追突の割合が高い

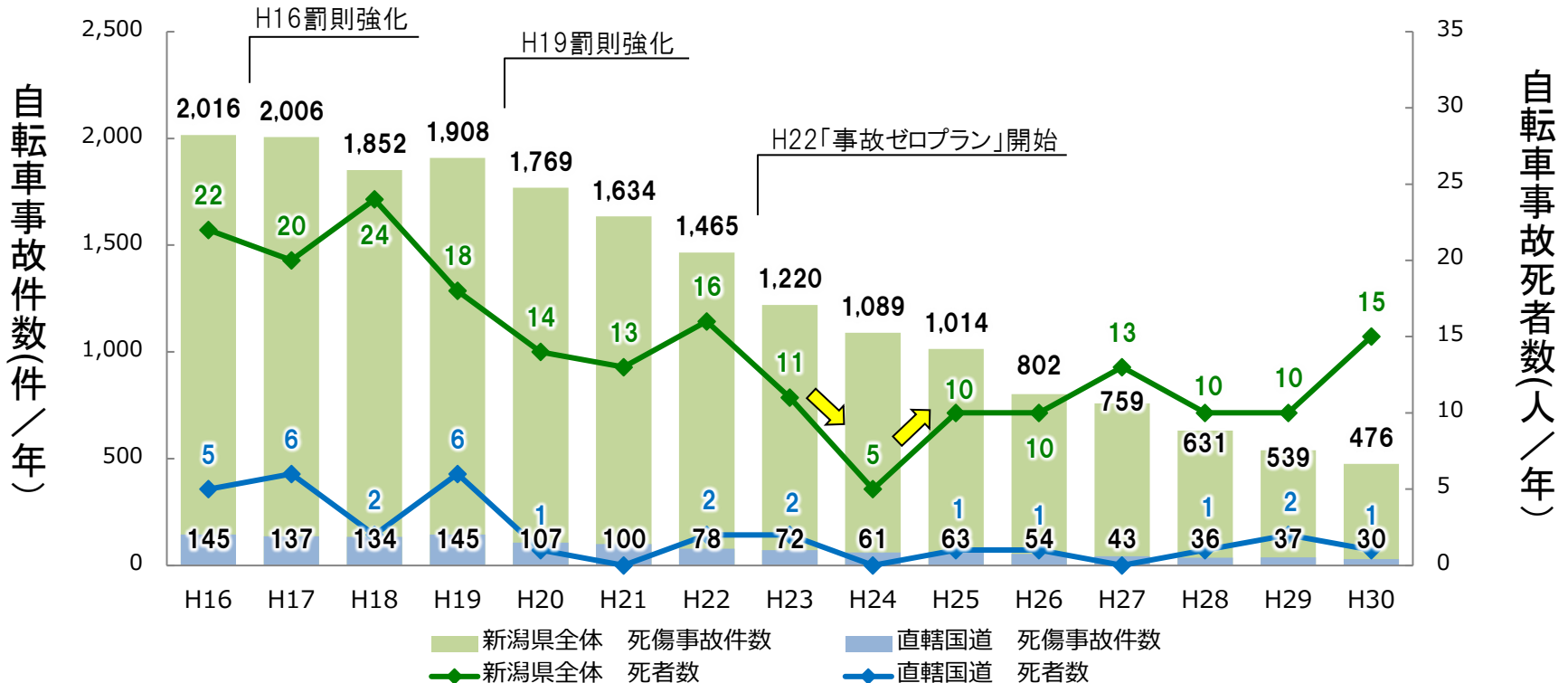
全国と比較して正面衝突・追突の割合が高い

3. 新潟県内の自転車・歩行者事故発生状況

(1) 自転車事故件数・死者数の推移

- 新潟県全体の自転車に関わる事故件数は減少傾向。
- 新潟県全体の自転車に関わる事故の死者数は減少傾向にあったものの、近年は10人前後で推移。

新潟県内の全道路および直轄国道における
自転車に関わる交通事故件数と死者数の推移



【H16罰則強化】走行中の携帯電話・酒気帯びの検査拒否による罰則の引き上げ等
【H19罰則強化】飲酒運転による罰則の引き上げ等

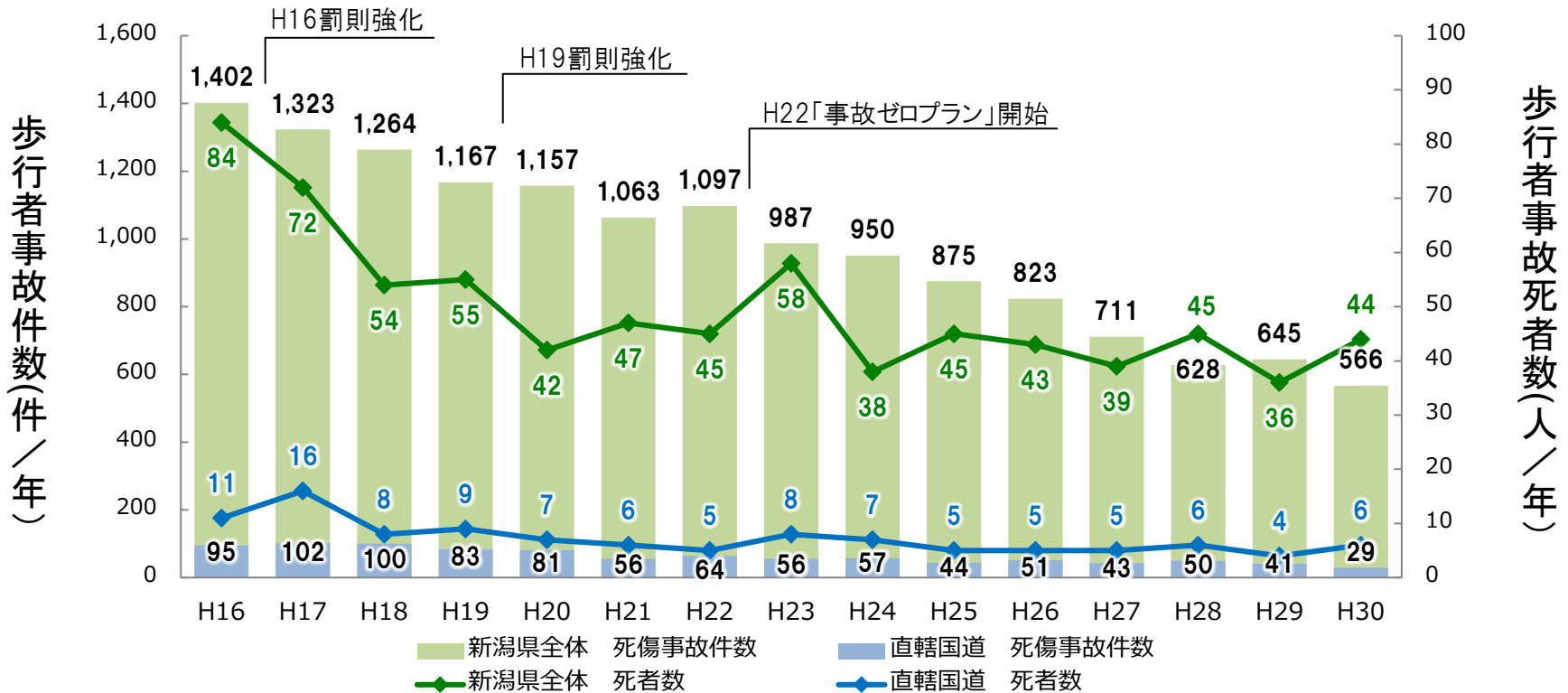
出典：新潟県警「交通年鑑」
(公財)交通事故総合分析センター「ITARDA区間別データ」

3. 新潟県内の自転車・歩行者事故発生状況

(2) 歩行者事故件数・死者数の推移

- 新潟県全体の歩行者が関わる事故件数は減少傾向。
- 新潟県全体の歩行者が関わる事故の死者数は概ね減少傾向ではあるものの、県内直轄国道は近年横ばいで推移。

新潟県内の全道路および直轄国道における歩行者に関わる交通事故件数と死者数の推移



【H16罰則強化】走行中の携帯電話・酒気帯びの検査拒否による罰則の引き上げ等
 【H19罰則強化】飲酒運転による罰則の引き上げ等

出典：新潟県警「交通年鑑」
 (公財)交通事故総合分析センター「ITARDA区間別データ」

4. 新潟県内直轄国道の自転車・歩行者事故発生状況

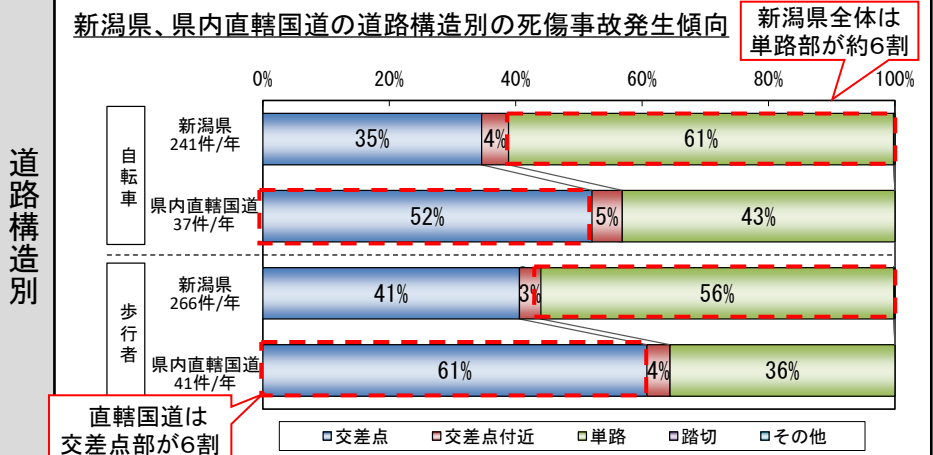
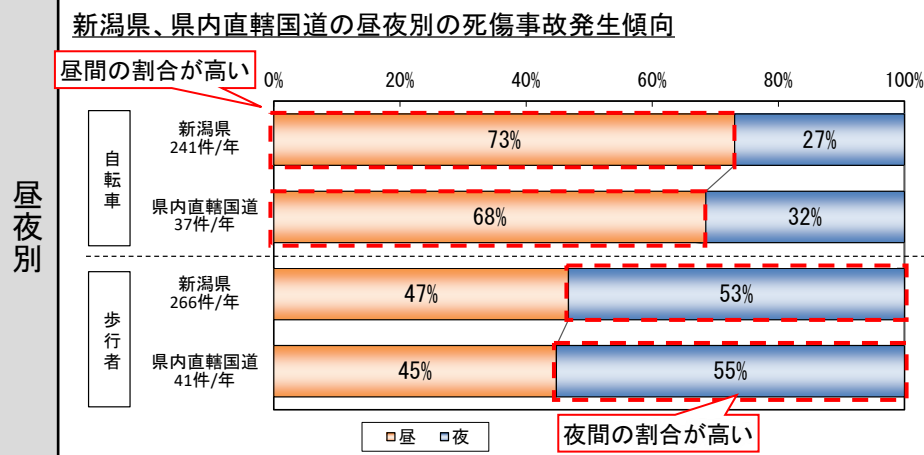
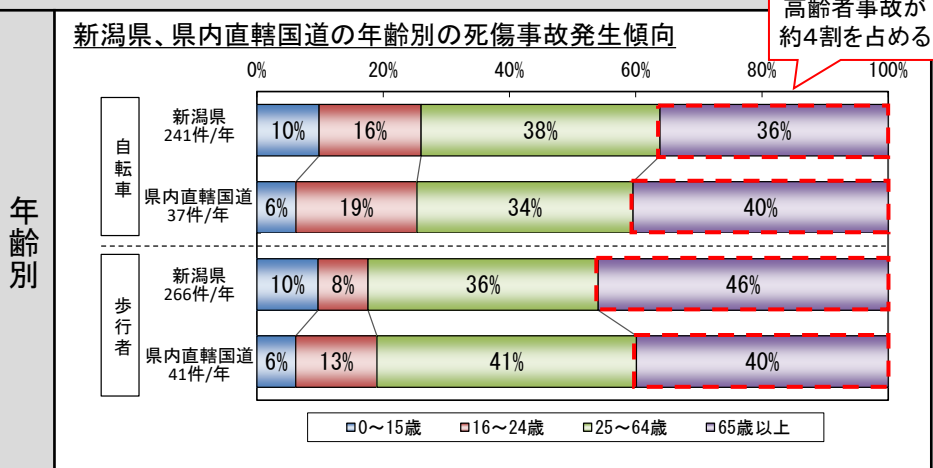
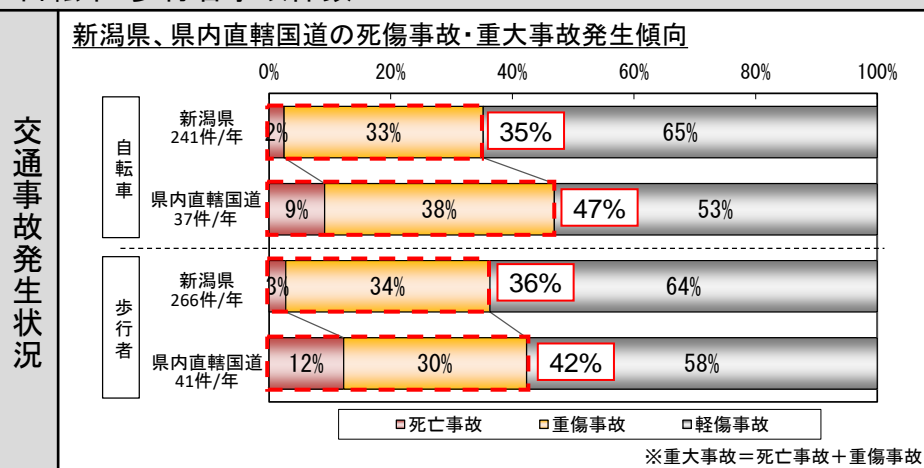
死亡・重傷事故、道路構造別、昼夜別、年齢別の発生傾向

注)ここでの「新潟県」は、市道・高速道路は含まない

【自転車・歩行者の関連する事故発生状況について、「交通事故発生状況」、「昼夜別」、「年齢別」、「道路構造別」で分析】

- ・自転車・歩行者事故は、重大事故の発生割合が高く、ひとたび事故が発生すると重大事故につながりやすい傾向にある。
- ・昼夜別では、自転車事故は、昼間の発生割合が約7割、歩行者事故は夜間の発生割合が5～6割を占める。
- ・年齢別では、自転車・歩行者事故ともに、高齢者が関係する事故が約4割を占める。
- ・道路構造別では、自転車・歩行者事故ともに新潟県全体では単路部で約6割、県内直轄国道では交差点部で6割の発生を占める。

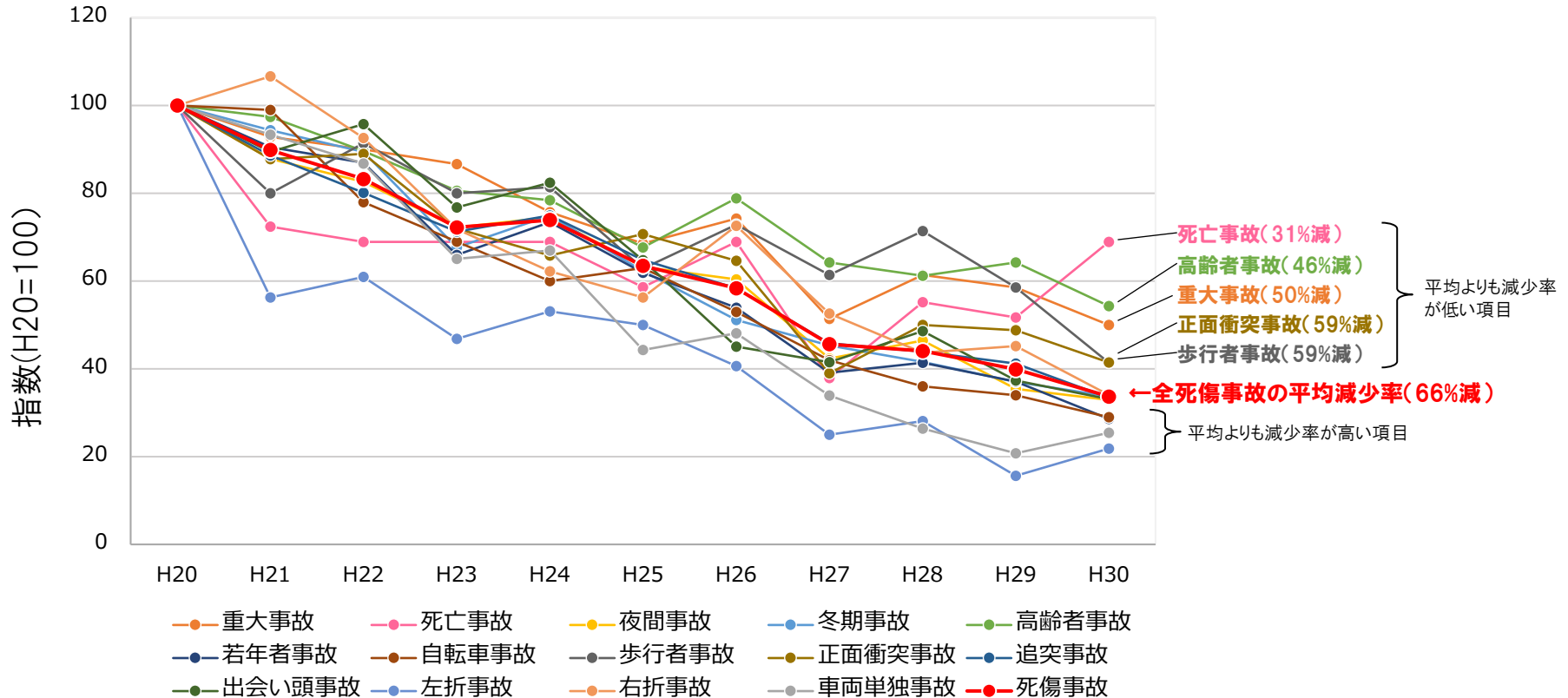
自転車・歩行者事故件数



5. 新潟県内直轄国道の項目別事故減少率

項目別の事故減少率

- 前段で整理した事故特性の他、項目別事故の過去10年間の減少率にも着目。
- 県内直轄国道の死傷事故は、H20年から比較すると、66%減少している。
- 項目別に比較すると、**重大事故・死亡事故・歩行者事故・高齢者事故・正面衝突事故**において、全死傷事故の平均減少率より低い。



出典：(公財)交通事故総合分析センター「ITARDA事故別データ」

6. 新潟県内直轄国道の事故特性まとめ

ここまでの分析結果より、新潟県内の直轄国道における事故特性を以下にまとめる。

【重軽傷別】

・新潟県内直轄国道の重大事故件数は、全国全道路に比べ減少している。

【季節別】

・季節別の割合では、死亡事故は全国と比較して夏および秋の発生割合が高い。

【年齢別】

・年齢別の割合では、死傷事故は全国・新潟県と比較して24歳以下の若年者の割合が高い。

【当事者別】

・当事者別では、死傷事故は全国・新潟県と比較して自動車による事故の割合が高い。

【道路構造別】

・道路構造別では、死傷事故・死亡事故ともに全国と比較して単路部の割合が高い。

【事故類型別】

・事故類型別では、死傷事故は追突事故が約7割を占める。